

令和6年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
水産部門

一年漁師－寄り道から始まるつながり－

○氏名又は名称 株式会社 天洋丸（代表 竹下 千代太）

○所 在 地 長崎県雲仙市

○出 品 財 経営（地域活性化）

○受 賞 理 由

・地域の概要

長崎県雲仙市は一次産業が主体の地域である。南端に位置する南串山地区は、橘湾の恵みを受け、農漁業が盛んな地域であり、典型的な中小零細規模漁業を中心とする沿岸漁業地区である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

受賞者は、中型まき網漁業経営を主たる業としている。主に煮干原料のカタクチイワシを漁獲し、地元加工業者などへ供給している。まき網船は多くの乗組員が必要となるが、高齢のパート従業員が多く安定的な労働力確保が課題であった。

・受賞者の特色

（１）「一年漁師」の実態

「一年限定の漁師」の取組を令和3年から開始した。漁師に興味がある人が気軽に漁業に従事できる仕組みを作り、着業のハードルを下げることを目的である。たとえ将来、漁業者にならずともこの体験を通じて漁業への理解が深まることも期待されている。仕事内容や待遇は一年限定ではあるが正社員と同様で、生活環境も整備されており、応募者に既存の取組にはない着業の気軽さと安心感をもたらしている。これまで3名が「一年漁師」を修了し、うち女性2名の起用が労働環境の改善に繋がった。

（２）「一年漁師」の成果

3名のうち1名を正社員として確保することに成功している。もう1名は、漁業者ではないが水産業と関わる人材になる可能性が高く、さらにもう1名は、漁獲物のユーザーとなっている。一年漁師は、担い手確保の入り口として、そしてそれを支援するサポーター的人材の育成機会として実際に機能しており、水産業に関与する幅広い業種に対する人材育成の場となっている。

・普及性と今後の発展方向

一年漁師の普及には、受入側が会社経営で、日帰り乗船の労働強度の低い漁業種類であることや、応募者に合わせた業務を割り当てられる多角的経営であること等の条件が必要である。しかし、本取組は現在の若者の働き方への多様な価値観に合致していると考えられ、今後もこうした若者の受け皿となり、当事例も含め類似の事例が増加すれば、日本全体の新規就業者数拡大が期待される。